

地方分権に対する 意識改革を



市来 修議員

市来 修議員 国は、地方分権推進計画の基本的考え方として、推進委員会の勧告を最大限尊重して、着実に実施するとし、そのなかで、補助金等の削減についても、計画がなされている。補助金等の削減が実施されると、本町にとっても事業推進上、かなりの影響が予想される。地方分権の時代として、町民の意識改革を進める必要があると思うが、町長の所見を伺う。

北村町長 地方分権の理念の基には、「地方の自立」、そして、「自己決

定・自己責任」という自治責任の問題がある。この地方分権に対する町民の理解が、町勢発展の重要な問題である。徐々にはあるが、分権に対する町民の意識が浸透しつつあると思う。分権時代にあたって、住民に身近な行政として、町民が参画、そして関与できる行政システムを取り入れながら、分権への理解を求めていきたい。

「ロード愛運動」の 取り組みを

市来議員 雨上がりに、側溝に落ち葉等が詰まっているのを見かける。はじめは少ない量のゴミだが、放置しておくとなかなか負えなくなる。また、町道に空き缶、紙くずなど



落ち葉等が詰まった道路側溝

が放置してある。「環境美化条例」が施行され、町の責務として、町民等への意識の向上を図るよう啓発に努め、自主的な環境美化活動に対し積極的に支援するとしてある。また、町民等の責務は、

相互扶助の精神に基づき、身近な地域清掃、環境美化の促進に関する実践活動に積極的に参加するとしてあり、自分たちの地域の軽作業、清掃は、自治公民会活動として、指導はできないか。

町長 町と町民、そして事業者が一体となって、美しい自然と快適な生活環境の確保に努力している。環境美化推進員による指導・助言・情報提供、さらに監視もお願ひしているが、今後においても衛自連や公民会と一緒に進めていきたい。

ナイター照明 の改善を

市来議員 以前、一般質問で、総合グラウンドのナイター照明の改善を要望したが、検討したいとの答弁であった。検討結果は、どうであったか。

町長 厳しい財政状況ではあるが、使用頻度や必要性を考慮し、今年度の早い時期に改善するようになりたい。